

バイクのリノベーションプラン

バイクのリノベーションとは、古くからのバイクの修理や、パーツの交換、カスタムなどを行うことを指す。

View metadata, citation and similar papers at core.ac.uk

brought to you by CORE

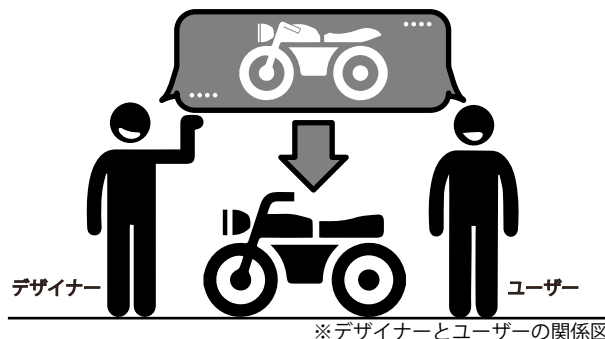
1. 制作の背景

現在、日本ではモノの消費サイクルが加速しているため、人ともとの関係性が徐々に希薄になっていると懸念される。使い手がモノを大切にすることを怠ればモノの消費サイクルはこれからも加速し続けるであろうと考えられる。

私は、人とモノとが良好な関係を保つために、デザイナーとして消費者に何か訴えることができないかと考えている。それは、モノを作り上げるといふ行為がいかにもモノへの愛着を生むかということを経験してきたからだ。つまり、“ものづくり”によって人とモノとの関係性をよくしていこうというのがこの提案の狙いである。大企業が行うような大量生産のあり方とは対照的に、個人のモノへの要望をよりダイレクトにものづくりへ反映できる仕組みを考えていきたい。

2. 制作の目的

本制作では、ものづくりを通して、ユーザーがモノとの関係性を築くプランを提案をする。モノの生みの親であるデザイナーの“ものづくり”という行為をユーザー自身が共有体験することで、モノへの愛着や愛情を個々に深めていくプロセス提案が目的である。このプランは、ものづくりのプロセスを知るデザイナーと共にものづくりのプロセスを的確に行うことで、モノと人との関係をよりよく築くものである。ここでは、バイクを通したものづくりのプロセスに焦点を当て、プランの策定を行うこととする。

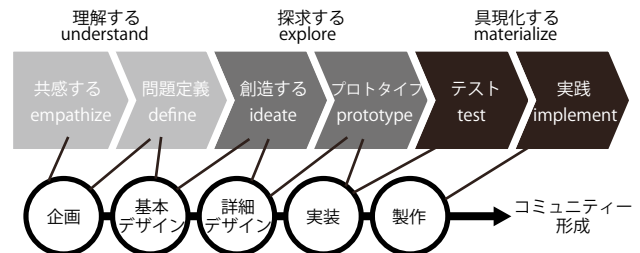


3. ものづくりのプラン

“ものづくり”と言っても、工業製品のようにプロが行うようなものづくりから、DIYのようなアマチュアでも気軽に取り組めるものづくりまで幅が広い。今回は、それらをものづくりのプロセスによって分類を行った。その結果、バイクという工業製品を扱う場合、知識不足によりアマチュアのものづくりへの参加が非常に難しいことがわかった。

そこで、デザイナーがものづくりのサポート役として参加し、一緒にものづくりを進めていくスタイルを取ろうと考えた。その中で、ものづくりのデザインプロセスを参考にしながらユーザーが自身のバイクをしっかりとプロセスを踏みながら本格的なものづくり体験を行い、モノへの愛着を作り上げていこうというのが、バイクのリノベーションの狙いであり、今後のものづくりのあり方のひとつと考える。

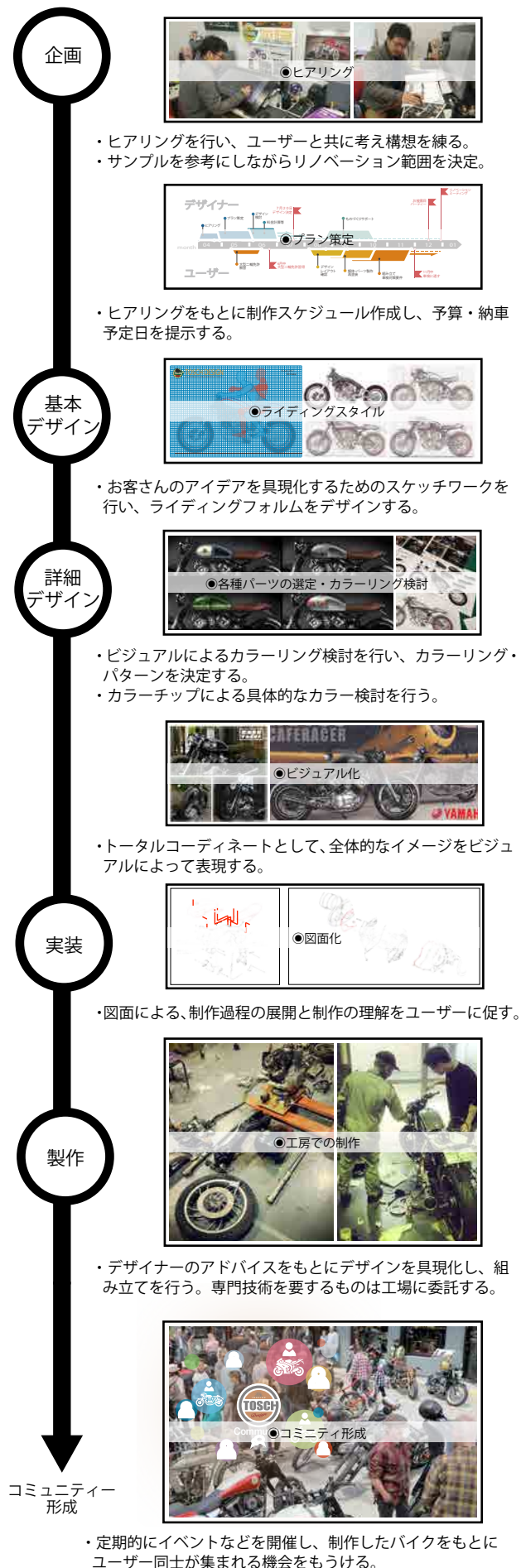
【ものづくりのデザインプロセス】



4. バイクのリノベーションプロセス

バイクのリノベーションの大きな特徴は、デザイナー監修のもとデザインのプロセスを踏みながらバイクに手を加えていくこと、一人ではなく複数の人と関わりながらそれぞれのバイクと向きあい、自分のバイクへの愛着をより深めていけることである。バイクのリノベーションのプロセスでは大きく5つのパートに別れ、それを具現化していく。





5. コミュニティー形成

リノベーションされたバイクを通してユーザー同士が関われるコミュニティ形成の場がTOSCHDESIGNである。ここでは、ものづくりを通してユーザー同士やデザイナーとのコミュニケーションを成立させる。TOSCH DESIGNの利用者を定期的集めることで、ものづくりを通じた、コミュニティの形成に役立てようと考えている。

6. バイクのリノベーション試行

バイクのリノベーションプランを基にして、実際に中古バイクを入手し、ユーザーとデザイナーの立場を実践してリノベーションを行った。



7. まとめと展望

本プランは大企業が行うような、大量生産のためのデザインではない。個人がモノヘダイレクトにアイディアを詰め込める仕組みを提供する。そこに、デザイナーと専門家を巻き込み、ユーザーによるものづくり文化を作っていけるものである。社会的なものづくりへの関心の高まりにより、こうしたプランをデザイナーとして世の中に提供していくことも考えられる。何より、プロダクトデザイナーとして、モノへの愛着を生み、人とモノとの良好な関係をデザインしていきたいと考えている。